

令和2年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493700239	事業の開始年月日	平成24年8月1日
		指定年月日	平成30年8月1日
法人名	株式会社ハートフルケア		
事業所名	グループホーム プラチナホーム市ヶ尾		
所在地	(〒225-0024) 神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町1848-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和3年2月8日	評価結果 市町村受理日	令和3年6月21日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先
----------

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近隣小学校の運動会や餅つき、自治会による新年の獅子舞や盆踊りへ参加をし、地域の方との交流をする機会を設けている。秋には、隣接するグループホーム プラチナホーム市ヶ尾Ⅱと合同祭りを開催。ご家族を招待し、利用者様の楽しみとなっている。また、パンの移動販売やボランティアも受け入れ、選ぶ楽しみ、作る楽しみを感じて頂いている。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル 9階		
訪問調査日	令和3年3月9日	評価機関 評価決定日	令和3年5月31日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずに外部会議室等で調査を行っております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

#### 【事業所の概要】

プラチナホーム市ヶ尾は、東急田園都市線市が尾駅から徒歩15分程度の、鶴見川に隣接した住宅地にある。建物は木造2階建てである。新型コロナ禍でホーム周辺の散歩は中止しているが、ホーム敷地内を歩いたり、テラスで外気浴をしたり、お茶を飲みながら利用者は楽しい時間を過ごしている。

#### 【利用者を楽しんでもらう工夫】

新型コロナ感染予防上、外出を中止し、家族や友人との面会も出来ない中、利用者はホーム内での生活を余儀なくされている。そんな利用者を退屈させないように職員は多様なレクリエーションを考え、楽しんでもらっている。

例年は、秋に隣接する同法人のグループホームとの合同秋祭りを開催していたが、今年度は中止としたため、それに代わるものとしてミニ運動会やビンゴ大会を開催した。この時の利用者の笑顔に満ちた表情は、今年度から発刊した「プラチナホーム便り」に掲載され、家族にも届けられている。

また、新たに「流しソーメン大会」を開催し、利用者はお箸ですくうのに苦労しながらも楽しんだ。更に、定期的に行っている利用者も一緒に食事を作る「お料理会」は、回数を増やしたり、いつものメニューに加え、豪華で手間のかかるメニューを取り入れるなど工夫をしている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム プラチナホーム市ヶ尾
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

事業所名	グループホーム プラチナホーム市ヶ尾
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に沿った年間目標を毎年立てている。	法人の「理念」「ミッション」「バリュー」をファイルに添付し、常に確認出来るようにしている。ホームは独自に年度目標を定め、今年度は「統一したケアとケアの質の向上」、「職員満足度の向上」とした。職員同士が気付きを共有し意思疎通を図りながらケアする様子を見て統一したケアが実践されていると管理者は評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度はコロナウイルス感染症拡大により、イベントごとの中止のため参加できなかったが、毎年近隣小学校の餅つきや地域の盆踊りなどへの参加をしている。普段は散歩などで近隣の方への挨拶や会話を楽しまれることもある。	上市ヶ尾町内会に加入し、地域情報は回覧板により取得している。新型コロナ禍により地域行事は全て中止になっているが、近隣住民より花を頂いたり関係は維持している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣への買い物や外食、イベントへの参加で外部と接することで理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長や民生委員の方が参加されており、率直な意見を伺える場となっている。また、地域や他施設の情報を得たり、参考になるお話を伺えることもあり、運営に活かされることもある。	今年度は従来の集合形式で2回、書面開催を3回行った。集合形式の際の参加者は民生委員と町内会副会長となっている。行政の参加はないが議事録を青葉区高齢障害支援課に郵送している。会議では、地域行事等が開催されない中のホーム内での楽しみ方について質問があり、新たにホーム内行事を企画し利用者に喜んでもらったことを報告している。	運営推進会議には行政（地域包括支援センターも含む）が年に1度は参加し、意見交換をすることになっています。参加の声掛けを行い、行政参加の上、充実した意見交換が行われ、運営に活かされることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて青葉区役所生活支援課・高齢支援課と連絡を取り、情報の共有を行っている。	行政から研修の案内は入手しているが、新型コロナ禍のため参加はしていない。生活保護受給者が入居しているので、青葉区役所生活支援課とは定期的に電話にて状況報告を行っている。また、昨年10月には職員が来所している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員、身体拘束を行わないことを理解している。但し、事業所の前の道路は車の通行も多く危険な為、入居者様の状況に応じて扉は施錠している。	委員会は組織していないが、3か月に1度開催するミーティング内で身体拘束の有無を「チェック表」を用いて確認し、研修も行っている。管理者は、スピーチロックを回避するために、待ってもらう時には必ずその理由を補足することを周知している。また、職員指導時には、利用者を自分の家族に置き換えた場合どう思うかと具体例を挙げながら話している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についてのマニュアルを作成しており、研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度についての資料を職員がいつでも閲覧できるように設置している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は十分にご説明し、ご理解いただいたうえで契約書を交わしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を玄関に設置している。ご意見があった場合は、職員と話し合い、運営推進会議で報告を行っている。	今年度より「プラチナホーム便り」を発刊し、時には利用者直筆のコメントも入れて家族に送付し、好評である。家族が電話や日用品を届けに来所した際に意見・要望を聞いている。面会の要望があり、11月よりタブレットを使用したリモート面会を予約制で開始している。また、1階の利用者家族は日用品を届けに来た際に窓越しの面会が可能となっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にフロアミーティングを行っている。日常の申し送りでも、職員の意見を聞く機会となっている。	3か月に1度、全員参加により開催するミーティングや個人面談、日々の業務の中で職員の意見を聞いている。人手不足のため難しくなっている資格取得のための研修への参加を実現するため、管理者は法人と掛け合い人員確保に積極的に動いている。現場での判断力や責任感向上のためにリーダー制を導入し、職員の育成にも注力している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の自己評価に基づき、職員と面談を行い、評価をしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内での研修の他、本社や関連施設でも研修を行っている。また、普段の業務中でも、疑問に思うことはすぐに解決できるように、質問しやすい環境作りをしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修などの参加により、情報交換やサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や面接時、ご本人の困り事だけでなく、思っている事を何でも良いので話して頂ける様な、リラックス出来る雰囲気作りをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居のご相談を受けた際は、どのような事に困られているかや要望等、できるだけ詳しく伺うようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	聞き取り後、フロアー職員と協議し、必要な支援が受けられるように提携機関、協力機関との話し合いを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員とご利用者様で協力しながら掃除や食事の準備、後片付けなどを行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との生活歴を知ることにより、今まで以上により良い関係づくりが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に安心して生活できるよう、馴染みのものを出来る限り持参して頂いている。又、入居後もご友人などとの連絡が途切れないよう、電話や手紙、ご訪問などをお受けし、支援している。	新型コロナ禍のため、友人の来所は中止しているが、電話や手紙の取次ぎは行っている。入居前からの趣味の継続では、塗り絵が好きな利用者がいて、出来た作品を居室に飾っている。また、調理の好きな利用者はお料理会で腕前を發揮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や相性などを考慮し、レクレーションや役割活動などで良い関係作りを支援している。また、職員が間に入り、円滑にコミュニケーションが取れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様には、契約終了後も電話にて相談、支援を行っている。入院により退居された方へは、面会なども行っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人からの意向などは記録に残している。意思表示が困難な方は、表情や態度、これまでの生活歴などから汲み取り、ケアプランに取り入れている。	発語の難しい利用者の思いは、入居前のアセスメントを参考に、表情や様子を見たり、選択肢を用意して反応を見ながら把握している。把握した内容は、出勤時に職員が必ず目を通す「申し送りノート」に記載し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族から生活歴の情報を得て、プライバシーに配慮し職員間で共有している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々観察し、記録に残している。往診医、訪問歯科、訪問看護、薬剤師等と連携し、心身の状態の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族の希望を聞き、毎日の記録やケアチェック表を基に支援すべき課題を明確にしている。	入居時の初回ケアプランは3か月後に見直すことにしている。通常は長期目標は1年、短期は6か月の見直しとしている。「介護記録」はケアプランと連動しており、支援内容の実施状況がわかるように記載されている。また、「管理日誌・ゆっくり・楽しく日誌」で利用者毎のケアポイントや1日の行動もわかるようになっている。その結果として、ミーティング内で行うカンファレンスでケアプランを見直す際に継続・追加・削除の判断が容易に出来ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録や申し送り事項を基にカンファレンスを行い、介護計画を作成している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて医師、看護師、薬剤師、福祉用具店などの協力を得ている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学生の慰問、音楽ボランティア、移動パン屋などを受け入れ、入居者様に楽しみを持っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医に関して、介護サマリーを提出し出来るだけ本人の状況を細かく説明しています。それらを基に、適切な医療を受けられるようにしている。	内科は協力医療機関が2ヶ所あり利用者は選択出来る。どちらも月に2回の訪問診療となっている。歯科医は毎週1回の訪問診療で契約者のみの受診となっている。外部医療機関受診時は家族対応が原則だが、状況把握の観点から職員が同行する場合もある。訪問診療及び外部受診の記録は「外来受診記録」に記載している。法人の訪問看護ステーションから看護師が各ユニット月に2回来所し、健康管理を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師へ心身の状態を報告し、情報の共有を行い、それらを往診医へ伝達し、健康管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先へは介護サマリーなどの情報をお渡しして、本人が安心して治療できるよう支援している。ご家族と退院後の受け入れに向けての話し合いも行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	協力医療機関の医師からご家族にムンテラを行い、また今後のことについてはご家族とホーム長、医師にて決めている。	入居時に「看取り介護についてのご説明」と「看取りに関する指針」を説明している。医師による終末期の判断後、「看取り介護における同意書」を交わし、看取り介護計画書を作成の上、看取りケアに入る。今年度は看取りはなかった。新型コロナ禍で看取り研修を集合形式で実施出来ず、来年度行う予定である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルがあり、それに沿って対応している。消防署での研修も受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、年2回程、避難訓練を行っている。隣接しているグループホーム市ヶ尾IIの協力を得ている。	昨年10月に夜間想定自主消防訓練を実施した。3月にも同様の訓練を行う予定である。今年度は新型コロナ感染予防上、参加者の接触を避けるため利用者参加の避難誘導は実施せず、隣接する同法人のグループホームとの合同訓練もしていない。非常時の備蓄品はリストにて管理されている。	備蓄品に関し、食料・飲料の品数や数量が少なく、温かい物や暖が取れる備品がありません。食料・飲料の種類や数量の見直しを行い、また、カセットコンロ、ボンベ等も準備し、災害時でも利用者、職員が少しでも食に満足し、安全が確保されることを期待します。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は個人を尊重した言葉かけを行い、個人記録には氏名の明記は行わない様、職員に周知している。	利用者と呼ぶ際には、事前に家族に確認した呼び方としている。排泄時の声掛けは小さな声で行い、職員が衛生用品を用意する際も利用者に見えないようにしている。個人情報を含む書類は施錠出来るキャビネット管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	時間をかけての傾聴や、毎日の生活から本人の意思や希望を汲み取る努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課はあるが、本人のペースに合わせた暮らしを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に1度、美容師が訪問し、ご本人の希望を聞きヘアカットを行っている。また、毎日職員とともに服を選んだり身だしなみを整えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	副食は関連施設から運ばれ、配膳や片付けなどを職員と入居者様とで協力して行っている。また、定期的に、お料理会や出前なども行い、楽しむ機会を作っている。	主菜と副菜は法人の介護老人保健施設より提供されたものを職員と利用者で温めたり、盛り付けている。季節のおせち料理や年越しそば、ひなまつりのちらし寿司といった食事も同様である。時には、出前を取ることもあるが、生ものの提供を禁止しているため寿司以外となっている。定期的に職員と利用者と一緒に調理する「お料理会」を行っている。今年度はメニューを例年より豪華で手間のかかるものにして利用者に楽しんでもらった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に応じた食事・水分量を準備し、摂取量を記録している。体調や嚥下状態などにより、食事形態を変えたりもしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは不十分なところは支援している。義歯は夜間に洗浄剤を使用している。また、訪問歯科からの指示を受け、適切なケアに努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンを把握し、出来るだけ本人に失敗なくトイレでの排泄が出来るよう支援している。	「排泄表」により排泄パターンを把握し、トレイ誘導している。夜間は睡眠優先とし、吸水力の高いパッドを使うケースが多い。但し、夜間も排泄リズムを把握し、トイレ誘導することでパッドを使用しなくなった利用者がある。また入居時はリハビリパンツだった利用者が、排泄パターンを把握し、それに基づいて支援したことで布パンツに改善できた例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表に排便状況を記録し、水分や内服薬の調整を行っている。また、体操や散歩など体を動かすことで自力排便が出来るよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人に希望や拒否がある場合は、時間や日にちをずらし、希望に沿える様にしている。	入浴は原則週2回で、午前中の中の入浴となっている。シャワー浴を希望する利用者も多い。入浴を好まない利用者には、担当者、日にち、時間帯を替えて対応しているが、無理強いせず清拭とすることもある。同性介助の希望はない。ヒートショック対策は、脱衣場は床暖房で浴室内は暖房で対応している。季節の菖蒲湯、柚子湯で楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	介護記録にて個々の睡眠状況を把握し、安眠、休息への支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員がいつでも確認できるようにしている。薬の管理・服薬の支援を行い、体調観察に努め、変化が見られる際には往診医に相談し、24時間往診医と連絡が取れるようになっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合わせた役割活動や趣味の支援を行っている。散歩や外気浴、行事への参加も気分転換となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣への散歩や買い物への支援を行っている。また、初詣やお祭りなど、季節のイベントへの参加も行っている。	新型コロナ禍のため、ホーム敷地内の散歩とテラスでの外気浴を行っている。下肢筋力の維持のため、毎日夕食前に体操を行い、ホーム内の廊下を歩くこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に、施設内では職員がお金の管理をしているが、必要に応じて買い物などでは、職員見守りの上でご自身でお金をお持ちいただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の了承を得て、本人の友達等との電話や手紙などでのコミュニケーションを取っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに花や、皆さんで作ったカレンダーや作品を飾っている。また、誕生会や行事で撮った写真を飾り、楽しんで頂いている。	リビングには利用者と職員とで作ったカレンダー、貼り絵、習字、ぬり絵、行事の写真が飾られている。また、近隣の方から頂いた花を生けている。クリスマスには、職員と利用者と一緒にツリーを作り飾った。温度・湿度はエアコンと加湿器で管理し、換気はキッチンの小窓を常時開けて行っている。新型コロナ感染予防のため、手洗い後の消毒、食器、手すりの消毒も行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファがあり、仲の良い方とゆっくり過ごすことが出来るようになってきている。天気の良い日は、ベランダで歓談しながらお茶を飲んだりされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に、本人の使い慣れたものを持参して頂ける様、ご家族にお願いしている。写真や絵など、お好きな物を飾ったりもされている。	エアコン、照明器具、ベッド、カーテン、たんすが備え付けられている。利用者はチェスト、ドレッサー、冷蔵庫、テレビと思いつきの品を持ち込み、自身の作品や写真も飾っている。利用者の安全面に配慮して家具の配置を変えたり、カバーをつけることもある。円背の利用者のために表札の位置も工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の基本動作を把握し、補助具の使用で自立した生活ができるよう支援している。また、部屋やトイレの場所がわからない等に対しては、張り紙をするなどして対応している。		

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 プラチナホーム市ヶ尾

作成日 令和3年6月19日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策の備蓄品について、食料が少ない事と、温かい物や暖を取れる備品がない等のご指摘がありました。	災害時でも職員やご利用者様の不安が少しでもなくなるように準備する。	温熱アルミシート購入済み。その他、必要と思われる備品、食料を購入予定。	1ヶ月
2	4	運営推進会議に行政が参加していない。	行政の方にも参加していただき、運営に活かしていきたい。	現状はコロナウイルス感染症蔓延ため難しいが、終息した際には、行政にも参加のお願いをしたいと思います。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。